たぜ口・立代の左0日4日

				立成 つりを	平成20年度事務事業評価表		11月111日 - 十月120年9月1日		
評価対	対象年度: 平	<sup>Z</sup> 成	19 <mark>年度</mark>	T13, 2 0 -	F 及 手 初 手 未 叶 叫 化	管理	1-1-1-1		
<mark>事務事業名</mark> 本宮方部特別支援教育推進協議会事業							教育部		
予算 科目	会 計		科目コード	予算細目名	教育総務事務事業	課 等 名	幼保学校課		
	一般		01-100102002	細々目名		係 等 名	学校教育係		
政策 体系	基本目標	1	豊かな心と創造性	あふれる人材育成のまちづくり					
	施策	1	小中学校教育体制						
	基本事業名	1	学校教育内容の向上						
特別支援を必要とする児童生徒の就学指導の委員会を開催する。 東 <del>営料画</del> 対象者の把握 日程調整 資料の作成 会議運営									

	事業概要 ・ 実施内容	特別支援を必要と対象者の把握	·	就学指導の 資料の作成		0.0				
根拠法令等		発達障害者支援法、 について、特別支援教 ついて、学校教育法施 の推進のための学校教	行規則、学校教育法、	度の在り方に	事業の種類 評価区分	□維持管理 □事前評価		義務的事業 後評価	□その他事業	
重点事業区分		□重点事業	事業実施期間		継続 □単年	度 □期間	間限定(	年度 ~	· 年度)	
241	1 報酬	_	円 1 <sup>-</sup>	1 消耗品費	_	円 1	15 工事請負賣	貴	円	

#### 7 賃金 円 12 役務費 円 18 備品購入費 筫 8 報償費 円 13 委託料 円 19 負担金補助及び交付金 円 9 旅費 円 14 使用料及び手数料 合 計 O 四 田

## 1.事務事業の現状把握(Do)

### (1)事務事業の目的と手段

# 対象(誰を、何を)

児童生徒・特別支援コーディネーター・保護者

# 手段(事業の具体的な内容、手順等)

特別支援児童生徒のケース検討会や特別支援コー ディネータの研修会を実施し、情報の提供・啓発活動 を行う。

# 意図 ( 対象を、どのような状態にしたいのか )

多動傾向にある幼児児童や集団生活に馴染めない児 童等の特別な教育的支援を必要とする子ども一人ひと りのニーズに適切に対応し、子どもの健全な発達と成 長を支援する。特別支援児童生徒のケース検討や就学 指導の調査研究を行う。

### 活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標 名称本宮方部特別支援教育推進協議会の開催 指標

(1) 式協議会の開催数

名称 特別支援コーディネーター研修会 指標 (2) 式研修会の開催数

成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標

名称 特別支援教育児童生徒割合 指標

(1) 式 特別支援教育児童生徒数 / 全児童生徒数

指標 名称 (2)

# 事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか

特別支援教育を要する児童生徒の状況把握と教諭の適切な指導のためのアドバイス、保護者への相談事業などを実施し、子 どもの健全な成長と発達への支援を行う。また、調査研究を目的として、専門講師の指導のもと年3回の研修会を実施した。

# (2)指標・総事業費の推移

	-/-								
	区分			年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 ( 実績 )	20年度 ( 見込み )	年度 (最終目標)
		活動指標(1)	口				3	3	
指		活動指標(2)	口				3	3	
標		成果指標(1)	%				1	1	
		成果指標(2)							
		財国・県支出金	千円						
	事	源 地方債	千円						
投	業費	内その他	千円						
	費	一般財源	千円						
N	入	事業費計(A)	千円	0	0		0		
	人	職員数	人				0.5	0.5	
量	件	人件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	
	費	人件費計 (B)	千円	0	0		4,187	4,187	
		総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	4,187	4,187	

# (3)事務事業の環境変化・市民の意見等

# 事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?

近年、多動傾向にある幼児児童や集団生活に馴染めない児童等の軽度発達障害の子どもが増加傾向にあり、幼稚園、小学校 などの教育現場でもその対応が急務となっている。そこで、子どもと教諭及び保護者に対しての支援が必要となる。

この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?

なし

2.事務事業の評価 (Check)

	[目的妥当性評価]									
	施策体系と			市が行なう				図の妥当性		
		【理由】			【理由】			【理由】		
	□無	【理由 ,	改革改善案へ	]無	【理由 ,	改革改善案へ】	□無	【理由 ,	改革改善案へ】	
					r 左大hkhi	·····································	<u> </u>			
Acti	成果の向上	- 全 <del>lll</del>		事業の中止	<u>[有効性</u> ・廃止によ		新 <b>州</b> 東業人	 この統廃合の	可能州	
評	□ 有	-赤地 【理由 ,	改革改善案へ		・廃止にす 【理由 】		回有	-の統廃占の 【理由 ,		
価		【理由】			【理由 ,			【理由】	以 <del>∓</del> 以□ホ ·₃	
		B			B					
結										
<b>—</b>										
果										
			[ 効率	<b>怪評価</b> ]				[ 公平性部		
	事業費の削			人件費の削				■の適正化余		
		【理由,	改革改善案へ		【理由 ,	改革改善案へ】		【理由,	改革改善案へ】	
	□無	【理由】		□無	【理由】		□無	【理由】		
3 ‡	  評価結果の	公任レ会後	の方向性				I			
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					(2)全体総括(折	EIJ:EIJ E	(坐占)		
(1)	· <b>从計画句</b> 目的妥当			ヨ古し合地がち	7	(2)主体総括(加	ヌリ125リ、か	く自尽)		
	日的女 有効性	11生	= =	見直し余地があ						
	有劝性 効率性			見直し余地があ 見直し余地があ						
	公平性			元重し赤地かの 見直し余地があ						
(3)	今後の事業の	の方向性		元旦∪示地がめ	) S		(5)	心苦 . 心盖!	こよる期待成果	
	<mark>フロッチ来、</mark> □廃止		<mark></mark> 休止	□事業の統原	<b>泰</b> 全	□目的再設定	. ,		合は記入不要	
	□事業のや				ౣౢ □方改善(効:		"		コスト	
	□事業のや			_		平は以書) で特に改革改善しな	11.13		咸 維持 増加	
	改革改善案				( IL/NO/JE)	て打に以上以口の		- L	HC1-0 PENE	
( '/'	MTWHA.	· / IM SC						以 <del>//++</del> ±		
								根 低下		
								ILW I		
(6)	改革改革な	主現するト	での解決すべき	課題と解決策						
( ) ,	<del>м-мд с.</del>	<del></del>	C 15 10 15 C							
			_							
	事務事業の			2次評価対象	<b>✓</b> 2	次評価対象外				
(1)	2 次評価者		<u>価結果</u>			(2)評価結果の概	見拠と理由			
	目的妥当	性	=~ " = "	見直し余地があ						
	有効性			見直し余地があ						
	効率性			見直し余地があ						
	公平性			見直し余地があ	5 <b>3</b>					
(3)	今後の事業の		改革改善案)						こよる期待成果	
	□廃止	□休』	□目的	再設定	事業の統腐	全合	廃	止・休止の場	合は記入不要	
	□事業のやり方改善(有効性改善) □事業のやり方改善(効率性改善) コスト									
	□事業のやり方改善(公平性改善) □現状維持(従来の通りで特に改革改善しない) 削減 維持 増加								咸 維持 増加	
								. 向上		
							] []	推持	$\sim$	
								低下	$\times$	
							-			
(5) <sup>-2</sup>	<mark>その他、2</mark> 次	マ評価会議で	で指摘された事項	Į į						